

1

可愛いスズメが日向ぼっこ



ちょっと簡単過ぎたかな?



3

街の鬼門を守っている鬼瓦



2

「牡羊座」のシンボル



9

■街歩き度チェック

14～15コ 伊能忠敬型

あなたは地図が作れるほど街を知り尽くした街歩きの達人です。

10～13コ インディ・ジョーンズ型

行動派のあなた。未知のモノを発見しては楽しむ探検家タイプです。

7～9コ フーテンの寅さん型

あっちをフラフラこっちをフラフラ、放浪癖あり。だけど故郷への思いは人一倍。

3～6コ 二宮金次郎型

脇目もふらず…もたまには休んで、道草、寄り道で見聞を広げてみては。

1～2コ だるま型

どっしり座っているのもいいけど、「悟り」は街の中にあるかも。

10



青い十字架が二つ見える

11



天秤座のシンボル

人面相?どこかの中庭にあるよ



4

このポスト使われているの?



5



6

エントランスに石の筍



7

街に来る人をお出迎え



8

こんな素敵なマンホールも

ベイタウン 犬も歩けば 街発見クイズ

14



北はどっちだ?方角がわかる

12



中庭に井戸を発見!

13



暗くなると、この物体の正体が...

15



通称「行き止まり階段」

皆さん、「AT 講座」をご存知ですか？ 一昨年、有志の住民と打瀬中学校の間で始まった「放課後に、地域の人たちを先生として、学年学級の枠を取り払い、子どもたちの希望する授業を受けられる」講座で、当初は“AS (After School) 講座”と名付けられていました。昨年度からは“AT (Adventure Time) 講座”と名を変え、今年度も10/17に2時間の時間をとって実施されました。「どんな講座があるのか?」「子どもたちの様子はどうか?」などを紹介します。【浜

台風の影響で大雨だった当日、中学校の受付で資料に目を通してみると、講座数は17、アシスタントを含む講師数は30名以上! しかも講師名の欄には、この街のあちこちで活躍されている元気な方たちのお名前があり「これは、楽しい授業になりそう」と、一気に大雨による鬱陶しい気分が吹き飛びました。

まずは、本誌記者による“ベイタウンニュースをつくろう”講座の、記者班とレイアウト班に分かれての講義。記者班は、液体(水)を入れたコップの様子を文で著す「ものの見方」、新聞記事を読み取材相手を推測してみる「取材相手は誰?」などの文章の書き方・読み方を学びます。隣の教室ではレイアウト班が「記事を生かす写真」について、子どもたちも実際カメラを手に持ち、記事写真の撮り方を練習しました(この2つの講座は昨年同様、生徒作品の記事を本誌上で掲載予定)。



同じ頃、“野菜をつくろう講座”では、大雨の中、畑にキャベツの苗100本を植えていました。傘や雨具を使っただけの講座でしたが、「悪天候のおかげで、逆に、野菜作りの苦勞を知った」「晴れていれば、鍬で耕すところからやってみたかった」などの声が聞かれました。風邪をひかぬようと講座は半分の時間で切り上げられましたが、「これから毎日、キャベツの事を忘れないよう暮します!!」と、作物への愛情いっぱいの子も。子どもたちの心に“ゆとり”があることを知り、ほっとしました。

雨のためグラウンドが使えず、武道場で練習試合をした“グランドゴルフをやろう”では、「床が滑り、球が扱いにくかったが楽しかった。勝ち負けよりも交流が大事!」と男子生徒。

一方、校舎2階では「月落ち、烏啼いて〜、霜、天に〜満つ〜」と男子生徒が“七言絶句”「楓橋夜泊」を朗詠する声が響いていました。中学生が詩吟を選ぶ意外感から「なぜ詩吟講座を選んだの?」と聞くと、「おばあちゃんが詩吟をやっていたので、一度習ってみ

たかった」との答えが返ってきました。



ここで「女子はどこに?」と思い、迷路のような校舎内を捜してみると、やはり“生け花”講座や、“ハロウィンで大はしゃぎーカボチャを花器にした季節のアレンジメント作りの講座”に大勢が参加し、真剣に花をいけていました。カボチャをよく見ると、ひとつひとつ表情が違い、作った本人に似ているような…。「持って帰ったら、家に飾ります」とのことですから、きっと家



ベイタウンネットの遊び方

実際に学校のコンピュータでベイタウンネットのHP(<http://www.baytown-net.com/>)にアクセス。もっとも小学生時代からITには慣れている打瀬っ子にはこんな「ジョーシキ」の範囲かな。



ベイタウン・ウォッチング

街を実際に歩く野外活動を企画したが、当日はあいにく雨。「街歩きに時間をとれなかった分、生徒と講師がじっくり話し合えた」という感想も。

族間でも「これ、〇〇に似ているね」「え〜、うっそ〜、そんなことないよ」なんていう会話が交わされたかもしれません。



他にも“学校に木を植えよう/かっぱの手をつくろう/小刀、竹(木)細工/きれいな地球を残そう/料理教室/ソフトバレーボール/絵画教室”の講座が開かれ、いつもと違う地域の先生の授業に、子どもたちも新鮮な気分で臨んでいたようでした。取材中に気付いたのは「素直に感想を述べてくれる子が多い」ということ。これが、ベイタウンの特徴でしょうか。

講座終了後、講師のみなさんと先生方との間で反省会が持たれました。講師からは「有意義な講座なので、もっと回数を増やして欲しい」、「講座を通して中学生との距離がずっと近くなった、街の中で会っても自然にあいさつを交わせる関係ができれば嬉しい」などの意見が出されました。来年はあなたも講師をつとめてみては。



料理教室

料理教室でピザを作った3年男子から、「益田と竹田です。焼き加減がよくできて、本場イタリアの味を知りました。楽しくておいしかったことをベイタウンニュースに書いてね」と人なつっこい笑顔で頼まれました(これには弱い)。



ゲームで学ぼう

「身振り手振りだけで、誕生日順に並んでみよう」と、ユニークな方法でコミュニケーションの原点を学んだ

自然エネルギーのひとつとして風の力が脚光を浴びています。そう言えば、この春に開校した海浜打瀬小学校にも風車があったはず。啓蒙目的の小さなものですが、風力と太陽光を利用した発電設備には変わりはありません。ここでは、どの程度の電気が生まれて、どんな使い道にあてられているのでしょうか。

風車の近くにはちゃんと、「ハイブリッド電源設備システム説明図」というイラスト付きの説明がありました。これを見ると、風力発電の出力は1基あたり120wで、太陽光のは同じく120wということ、そして、そこで生まれた電気は蓄電池にたくわえられて、そこから庭園灯や池の噴水を動かす装置などに向かうことがわかります。

でも、合計出力480wと言っても、ピンときません。そこで、千葉市の教育委員会で施設の建設を担当する山本邦夫さんや、海浜打瀬小学校で教頭を務める穴倉喜巳さんを訪ねることにしました。

話を聞いてわかったのは、いちばんの使い道は庭園灯ということ。庭園灯は発電設備の近くに3基あって、明るさ(1基あたり)は白熱灯70wに相当するといいます。風力や太陽光のエネルギーでできた電気は庭園灯を夜6時から11時までつけておくのにまづ使われています。

池の噴水は、ジョウロの口を真上に向けて立てたような噴き出し口から電気仕掛け

で水が出てくるものです。水の高さは20～30cm程度。かわいいものです。強めの風が吹くと水が出る設定にしてあるので、なかなか見ることはできません。

発電量を記録しようと、9月から10月にかけてこの場所に10回通いました。日中なので、太陽光発電の発電量を示すメーターはふれているのですが、案外風は弱く、風力発電のほうはほとんどゼロ。水が出ているのを



目撃できたのはわずか1回だけでした。四つ葉のクローバーみたいなものですね。

残念なのは、学習用に使う想定で発電設備近くの制御盤に付いているコンセントを、小学校では使っていないことです。市側には「災害のとき体育館でテレビを見るくらいはできるだろう」との思いもありますが、屋外で校舎から離れているだけに、いい使い道が見つからないようです。

そう言えば、海浜打瀬小学校は「エコスクール」をコンセプトにすえていました。「エコスクール」にふさわしい使い方を、どなたか提案してみませんか。【茂木】



①グラウンド脇に立つ発電設備。風力発電と太陽光発電を組み合わせたもので、「ハイブリッド型」と呼ばれる。

②風がある程度強く吹くと電気が流れて、近くにある池から噴水が出る仕組み。千葉市や海浜打瀬小学校の話では、風速4m以上で水が出る設定を夏休み前に切り替えて、もっと緩やかな風で水が出るように改めたという。



③発電設備近くにある制御盤。発電量を示すメーターと学習に使うのを想定したコンセントが付いている。

MAKUHARI ミルキートワラース
今年も全国制覇

皆さん、こんにちは、MAKUHARI ミルキートワラースです。このベイタウンニュースでとりあげて頂くのは2回目です。前は、2000年1月23日、日本武道館でバトントワリング小学校部門日本一になった時。そして今回は、10月7日東京体育館で開催された“Japan Cup 2001 全国大会”にバトントワリングジュニアの部に出場し、優勝することができました。とても嬉しいです。チームは中学生3人、小学生19人の22人の選抜メンバーで構成し、曲は“ターザン”を選びました。広いフロアで思いきりバトンを投げそして踊りました。とても緊張したけど、みんなで心と力を合わせて楽しく演技しました。6人の審査員の先生方全員が1位をつけて下さいました。優勝したご



ほうびに、とても大きくて立派なジャパンカップと東京都知事賞、産経新聞社賞、コカコーラ特別賞とびっくりするほどたくさんの賞を頂きました。感激でした。

ミルキートワラースはMAKUHARIでサークル活動を始めて20年になり、今は打瀬小学校体育館をメイン練習場として活発に活動しているバトンチームです。“明るく、楽しく、元気良く”をモットーに、元気だけは誰にも負けない幼児一般クラスからバトントワリング世界大会の日本代表選手になるのを夢見て頑張っている選手クラスまで45名のバトン大好き人間のチビッコ集団です。

打瀬小学校体育館をお借りして練習するようになってもう5年が経ちました。素晴らしい施設と地域の皆様のご理解とご支援のお陰でこんなに嬉しいご報告ができました事を心より御礼申し上げますとともに、これからもよろしくお願ひ致します。本当にありがとうございました。

(MAKUHARI ミルキートワラース)

MBTが「千葉市クラブ対抗戦」に
チャレンジ!

10月の秋晴れの下、第34回千葉市クラブ対抗戦があった。

3つのチームが出て、いずれも3～4回戦まで進出を果たした。春から早野さん(6番街)が中心になり、学生ばりの強化練習や交

流試合(幕張テニスクラブ)を行なって挑んだ。今回は男子A組10名、男子B組9名、女子組7名と、初めての出場者も加わった。

女子は2回戦から登場し「ラ・メール①」を2-0、「リバーウィングTC」を2-0と、4回戦にまですすむ快進撃。男子Aは2回戦に「もえぎ②」を3-1で下し、男子Bも「東京ガス幕張テニス部」を3-1で破り、3回戦に勝ち上がったものの、「男子3回戦の壁」は厚く、今回も打破できなかった。幕張ベイタウンテニスクラブ(MBT)の挑戦は続いている。

MBTは現在64名の会員。毎週土曜の朝、OVTAコートでたのしい汗を流している。新しい仲間の参加はいつでも大歓迎。あなたも、ぜひ加わってください!詳しくは

- ・パティオス2番街の「ベイタウン掲示板」
- ・MBTホームページ

<http://www.amy.hi-ho.ne.jp/tiba-sasaki/>

(幕張ベイタウンテニスクラブ)



4回戦進出を決めた女子チーム

パイプオルガンという楽器を知っているだろうか？日本では余り馴染みのない楽器だが、海外、特にヨーロッパではどの街の教会にもオルガンがあり、大都市の著名な教会の大聖堂には、建物と一体になった巨大なパイプオルガンがあり、専属のオルガニストが、教会の音楽監督も務めている。大作曲家J.S. バッハのオルガン曲や合唱曲も、教会オルガニストという職業から生まれたものだ。



高橋 博子さん ベイトウン 在住

今回のWho's Whoでご紹介する高橋博子さんは、このパイプオルガンの日本では数少ない演奏家だ。「日本でパイプオルガン？」と思われる方もあるかも知れないが、バブル期の頃から我が国でもパイプオルガンは数多く建設され、今では海外のオルガンとも比べられるほどの楽器も出てきた。高橋さんは、これらの国内のオルガンをはじめ、ヨーロッパ各地のオルガンで演奏会を開く、フリーの（教会専属ではない）オルガニストだ。

なぜ、国内では珍しいオルガンという楽器を選んだのか。高橋さんは幼い頃からピアノを習い、中学生になる頃には「音楽家になるのが当然」という女の子だったという。そんな高橋さんは、中学の終わる頃オルガンという楽器と出会うことになる。あ

る日、TVから流れるパイプオルガンの音に高橋さんは耳を疑った。それまで馴染んでいたピアノと違い、ゆったりと持続的に響く音。そこにはピアノという楽器が持ち得ない魅力があった。音楽のどの分野に進むのか、それまで学んできたピアノを続け、ピアニストになるのか、あるいは作曲などの道に進むのか、はっきりとした目的を持たなかった彼女は、その日からパイプオルガンという楽器を選び、迷うことなくオルガニストになる道を選んだという。

東京芸大のオルガン科に進んだ彼女の才能は、その後めざましい開花を見せる。卒業後若手音楽家の登竜門の安宅賞を受賞し、留学したドイツ国立ハンブルグ音楽大学を首席で卒業。数多くの海外コンクールで優勝の実績を持ち、2000年の北ドイツ放送音楽国際コンクールでは優勝とともに、審査委員長であったグスタフ・レオンハルトから絶賛され、ハノファー万博に招かれて二夜にわたる演奏会を行っている。

パイプオルガンという楽器は建物と一体になっているので、持ち運ぶことができない。演奏するには必然的にその場所に行かなければならない。そのため国内各地と海外の旅で、忙しい生活を送る高橋さん。12月のベイトウンクリスマスコンサート（12/22、神田外語大学ミレニアムハウス）では、ベイトウン住民とコアのピアノ募金のためのチャリティコンサートにスケジュールを割いて出演することが決まっている。「当日はクリスマスにふさわしい曲を準備します」と語る高橋さん。荘厳なオルガンで聴くクリスマス曲がベイトウンの聴衆の心を魅了するだろう。【松村】



Japanese Organistin siegt im Wettbewerb

An der rekonstruierten Ceiler Stadtkirchenorgel sitzt Hiroko Takahashi, die den 1. Preis im Niedersächsischen Organistenwettbewerb gewonnen hat. Die Veranstaltung wurde maßgeblich von der Stiftung Niedersachsen, hier vertreten durch Linda Anne Engelhardt, gefördert. Daneben Prof. Gerhard Weinberger aus Detmold, der den Vorsitz in der Jury hatte. (siehe S. 25) / Foto: Müller

1999年ツェレ・ニーダーザクセン国際オルガンコンクール優勝を伝える新聞記事。

パトカー出動！ 食事客の車に「免許証を」「こんどは駐車場のある店にしましょ」

「車を移動させて免許証を持ってきて」。3番街の鉄板料理「Yoshino」前の横断歩道にかかる格好でとまっていた車2台のナンバーを読み上げて運転手を呼び出したあと、パトカーの中から警官が言う。ちょうど食事を終えたところなのか、中年の女性二人と、一方の娘らしき若い女性一人。素直に求めに応じて車を動かし、警官のところに向かう。

“解放”された直後、3人連れを直撃してみる。「ナンバー名指しで通報があったんですって。（横断）歩道に少しかかっていたみたい。こんど来るときは駐車場のあるところ

にしましょ」。建設中のコミュニティコア隣にある公共駐車場の存在はまったく知らないという。たしかに、ベイトウンにはじめて来た運転手にもわかるような案内はない。

10月6日土曜日午後2時40分から3時にかけて、わずか20分ほどの出来事だった。自転車でプロムナードを横断して海浜打瀬小学校のほうに行こうと思ったら、パトカーの中から「千葉西警察署からです」との声が聞こえる。気になってパトカーのほうに進路を変えると、プロムナードで横断歩道の近くにとめている車の取り締まりが始まった。



◀5番街前にパトカーをとめて、プロムナード上の横断歩道近くにとまっている車にマイクで注意を呼びかける。「動かさないと30分でキップを切る」。このあとプロムナードを、写真右奥のセントラルパーク方面に向かう。3番街エントランス前、1番街の書店「ヴィレッジヴァンガード」前にとめていた車はあわてて走り去る。

「商店会で運営する駐車場がほしい」

幕張ベイトウン商店会会長・武田主税さん

従業員用・ビジター用として商店会で運営する駐車場を砂利敷きでもいいから確保できないか、と考えている。そういうスペースを確保できれば、例えば車何台かで一緒にやってきたお客さんにも「こちらに駐車場がありますから」と案内しやすい。6月に会長になって、任期は2年。住民の方との“アナログな付き合い”を大事にしながら、できるだけのことをやっていきたい。（談）

事の始終を見ていて気になったのは、コアの隣にある公共駐車場が「来街者用」も目的としているにもかかわらず機能しているとは思えない点だ。行き先に近い道路の上にタダでとめられるのに、だれがわざわざ、行き先によっては遠くの、しかも有料の駐車場を使うのか。案内も誘導もないから存在すら知らない人も少なくないだろう。運転手と警察との“いたちごっこ”はいつまでも続く。

千葉県企業庁では昨年6月、公共駐車場を11番街の隣と「打瀬第二公園」（通称、赤玉・青玉公園）の隣にそれぞれ新しく整備する計画を明らかにした。分散した配置で行き先によっては遠くて便が悪いとの事態をさけることができるのはいい。問題は運用だろう。いまと違って、来街者用としてしっかり機能するような仕組みを、と思う。【茂木】

B

-

I

n

f

o

r

m

a

t

i

o

n

「さがしています」

9/26、16番街、第二公園、二丁目公園に隣接している原っぱ(リザーブ用地)で、子どもが虫捕りをしている間に、放置していたキックボードが無くなっていました。今日まで、ずいぶんベイトウン内を捜したのですが、みつきりません。マンションが増えてしまい、もう、子どもと私とではみつけられそうにありません。ハンドルのところにネームをつけてありますが、テープなので取り去られているかもしれません。どちらかの番街内で、置きっぱなしのキックボードがありましたら、声をかけていただきたいのです。

シルバーで車輪は黒、足を乗せる部分と支柱に「J D R A Z O R」と記されています。ハンドルに、ひらがなで名前を貼っています。足を乗せる部分にも、名字を付けています。

パティオス 11番街 309号 熊谷 (211) 6918

人にやさしい街づくり

吉川きよみ野 (埼玉県吉川市)

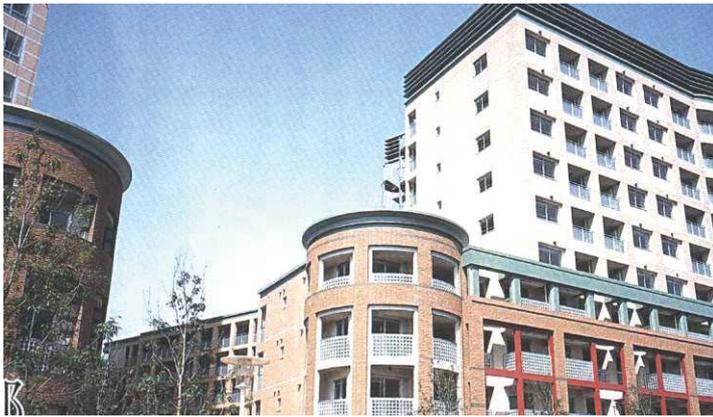
吉川きよみ野は、都心から約20km、埼玉県東南部に位置する開発面積約62.6ha、計画人口6,400人の地区です。

「人にやさしい街づくり」をコンセプトに、特に子供や高齢者、体の不自由な人々が安全で快適に暮らせる街づくりを目指し、開発を進めてきました。

平成8年の街びらき以来、地権者の皆様の住宅建設、土地活用や公団の宅地分譲、集合住宅の入居、公共公益施設の整備、ショッピングセンターのオープンなどにより、現在では約840世帯、2,700人の住む街となっています。

「人にやさしい街づくり」を具体化するため、住民参加によるポケットパークの整備や、特色ある歩行者空間のネットワークづくり、コミュニティ道路の整備等、様々な配慮をしています。

平成9年には、地区南側の住宅地の中を通るコミュニティ道路が「都市景観大賞」の「都市づくりパブリックデザインセンター会長賞」を受賞しました。



賃貸住宅のお問い合わせは
総合募集センター津田沼案内所
TEL: 047-478-3711
公団住宅の駐車場の問い合わせは
日本総合住生活(株)千葉支店

都市公団

1面「街歩きクイズ」の答え

1. 車止めに止まったスズメ (9番街)
2. 鬼瓦 (9番街)
3. 噴水 (セントラルパークの並木道)
4. 人の顔のレリーフ (13番街中庭)
5. ポスト (11番街中庭)
6. 石の筍オブジェ (7番街エントランス)
7. 子どもと鳥のオブジェ (公園東の街。マリンデッキからよく見える)
8. 消防車の絵がついているマンホール (2丁目公園の脇)
9. 十二星座のシンボルのうちの「牡羊座」(1番街)

■今回、街の中の面白いものを探して歩いてみて、知らなかったもの、見ていても気付かなかったものに出会うことができました。ベイトウンニュースの編集局員で一番たくさん知っていた人が14コ、7~9コが平均といったところです。このクイズをきっかけに街を歩いてもらえれば、いろんな発見があるはず。それにしても、街がどんどん成長しているのに驚きました。

佐藤則子 (#3-310/T&F211-0090)

■「自動車の問題は21世紀に入ると環境問題からスペースの問題に移行する」と、詳しくは覚えてませんが、だれかが指摘していました。なるほど。電気自動車のように環境面ではメーカーも研究・開発をしているようですが、スペース面では逆行していて、むしろどんどん大きくなっているように思います。自転車の世界では折り畳みがはやったというのに。やっぱり車より自転車ですね。

茂木俊輔 (#7-305/T&F:211-1066/m38032@pp.ij4u.or.jp)

■深夜0時40分に数寄屋橋(マリオン前の交番の近く)から平和交通の深夜バスが出ている。時々、終電に間に合うかどうか微妙な時に利用することにしている。八重洲口、兜町にも停留場があって、その後すぐに高速にのり最初の停留場がベイトウン入り口なので非常に楽ではあるが、ほろ酔い加減で知り合いに挨拶するのもバツの悪いものである。酔っている人、熟睡している人、本を読んでいる人、からんでいる人 などなど人間模様もいろいろあって面白がっている。

金一剛 (#3-220/T&F:211-0388/ikkim@xa2.so-net.ne.jp)

■AT講座、水彩画講師小笠原さんの「学校や周りの人に点数をつけられてしまうことで、『(点数が悪い)自分は絵がへたで苦手だ』と思いこんでしまうのです。このAT講座では評価をつけず、絵を描く楽しさ第一に味わってもらいたいのです」という言葉で「評価をつけない授業」の大切さを知りました。また、「学年学級の枠を取りはらい」「評価をつけない」授業、ちょっと昔なら「ガキ大将率いる、外遊び」もAT講座に入りそうです。昔ガキ大将だった皆さん、講師参加してみませんか。

浜田貴代子 (公園東の街 /atmark@pop01.odn.ne.jp)

■今年も打瀬中学校AT講座で講師を務めさせていただき、中学生諸君と直接話をする事ができました。毎年継続して講座をやっていると、子どもたちが成長して行くのが良く分かり、とても面白い。中学校に入ってきて、400字の原稿用紙を埋めるにも四苦八苦していた同じ子が、学年が上がった今年は理路整然としたことを話し、ものごとの見方、考え方もとてもしっかりしていた。打瀬小学校時代から知っている子の成長にはなおさら驚かされる。どの子も活動的で、これは、とキラリ輝く個性が見え始めていた。AT講座を取材していた大手出版社の編集記者が「こんな学校なら、自分ももういちど行きたい」と話していたが、全く同感だ。

松村守康 (#10-612/T&F:211-6853/m-matz@mxq.mesh.ne.jp)

10. 建物のペインティング (18番街)
 11. 十二星座のシンボルのうちの「天秤座」(6番街)
 12. 井戸 (15番街中庭)
 13. サッカーボールのような照明 (11番街)
 14. 方位盤をかたどったタイル (1番街・並木道に渡る横断歩道手前)
 15. 行き止まり階段 (13番街)
- ※9と11は1~6番街にそれぞれ2つずつ配された十二星座のシンボルの中から紹介しました。他の星座も探してみてください。
また、他にこんな面白いものがあるといった情報も「ニュース」にお寄せください。